

令和6年度 行政評価表

担当課	南保育所
章名	第3章_人を育て_はじける笑顔_輝くまち
節名	第1節_子ども・子育て支援の充実
施策名	施策2_保育サービスの充実

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保育所及び放課後児童クラブは充足率が高く、今後の待機児童発生が大きな懸念となっていますが、その一方、就学前人口は減少傾向にあり、ニーズの増加と人口の推移のバランスを見極めながら取組みます。 保育ニーズが多様化することが考えられるため、一時保育、病後児保育、延長保育など保育事業の検討を行いながら、待機児童の解消、少子化対策に引き続き取組みます。 幼児教育(就学前児童の教育)の充実に向けて、保育士等の質の向上を図るとともに、人材の確保に努めます。 今後の児童の減少を見据えた保育施設のあり方について検討します。 児童虐待が大きな問題となってきたことから、子どもを取り巻く環境の変化への取組の充実に努めます。 里帰り出産など母子不在時の対応や面接拒否の案件などについては、他市町村保健部門や関係部署との連携を図ります。

今年度の施策達成度	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
	B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
	C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)

施策達成度の理由
(施策に対する令和6年度の実績及び効果)

- 保護者の就労形態の多様化による保育需要に対応するため、延長保育事業を実施し、子育て支援の充実を図った。
- 保育士の資質向上を図るため、保育に関する専門研修の受講や、有識者立会いのもと保育現場にて指導や助言を受けた。また有事の際に、迅速に子どもの命を守るAED、エピペン(抗アレルギー剤)に関する研修を実施し、全職員で継続した救命体制の確保ができている。
- 乳幼児が安全で快適に過ごせる環境整備を図るため、保育室の床張替えやエアコン増設を実施した。
- 保育ICTシステムを保育所と保護者間で利用することで、保育所での子どもの様子や生活記録の情報共有のほか、出欠席・一斉配信などのツールとして活用した。また速やかな連絡体制を確立することで、保護者とのコミュニケーションの構築が図れた。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	令和8年度より国の施策である「こども誰でも通園制度」が開始されることから、在籍していない乳幼児の受け入れが始まる。子育て世代への新たな保育が展開されるが、保育の質や、保育士の確保が求められている。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> 在宅ワークや時短勤務など多様な働き方が充実し、就労希望者の増加傾向に伴い、保育需要も高まっている。 家庭環境の多様化に伴い、個々の乳幼児に適応した保育が求められている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育事業を実施し、長時間子どもを預けられる環境を整えたことにより、保護者の就労形態の変化に対応することができた。 施設内の点検や修繕を実施し、良好で安心安全な保育環境を整えた。 保育ICTシステムの活用により、保護者に子どもたちの様子や通知などを情報発信、共有することで家庭との連携を深めることができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> 多様な支援ニーズを有する子どもの健やかな育ちを支えるために、保育士配置基準とは別に保育士の確保や保健師の配置が必要である。 子どもたちが安全、健康に過ごすために、施設、設備を適正な性能に保つための点検や修繕が求められている。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成績指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				

行政評価表(事業評価一覧) 合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
		29,603	27,395	0	0	116
						27,279

次年度以降における施策の具体的な方向性	保育所施設の点検や改修を行い、安全な保育環境を整える。
	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き保育ICTシステムを活用し、保護者とのコミュニケーションの構築や保育業務の効率化を図る。 オンライン研修などを活用し、保育士の資質向上を図る。
第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを推進し、保育所の様子や子育て支援に関する情報を発信している。 保育ICTシステムを活用し、効率性の高い保育所運営を実施している。